

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 乗務員に緊張とストレス、負担を強いる

# 運転台の監視カメラ撤去を

### 6/30 団交・会社回答概要

#### 「次世代EB装置」とは

- 現行EB装置は運転上の操作を一定時間行わないと警報が鳴動し、さらに操作がない場合に非常停止する。
- 「次世代EB装置」の機能として①検知、②通知、③動作の3段階を考えている。

#### 「検知」「通知」「動作」の概要

- 「検知」：乗務中に停止位置不良が続く、レバー扱いを間違ふなど、機器の異常操作が繰り返し発生した場合に「検知」する。
- 「通知」：「検知」した場合に通知を受ける「乗務員状況把握システム」。体調不良の前兆を、各現場のモニターでリアルタイムに把握する。
- 「動作」：将来的には列車を遠隔で操作し、非常停止させる装置として検討。

#### 今回のカメラ設置の目的等について

- 乗務員の体調や前兆を把握するため、カメラの機能や撮影角度、光の当たり具合等を試験する。
- 2台設置のうち、1台は普通のカメラ、もう1台は赤外線カメラ。実施時には1台設置を想定。
- カメラ設置はあくまで試行のため、体調不良発生時の取り扱いはこれまで通り。
- 半年程度、試験して判断する。

#### モニターする箇所について

- 今回は本社で月に2～3回程度モニターし、内容を把握・検討する形で進める。
- 実施する場合は各現場でモニターしてもらう。

6月30日、動労千葉・動労総連合は運転台におけるカメラ設置の目的・根拠・問題点の解明とカメラ設置の中止を求めるJR本社との団体交渉を開催しました。

会社はカメラ設置について「運転士の体調不良等による事象の発生」を理由にしています。しかし、新たにカメラが設置されれば、乗務員は表情や動きを前後から監視され続けます。大きな緊張とストレス、負担を強いられます。それは乗務員を精神的に追い詰め、鉄道の安全破壊につながるものです。

### 乗務・融合化の撤回を

そもそもこの間、乗務員に対して付加時間の削り取りや業務融合化―統括センター化・乗務化、「その他時間」設定などが強行され、乗務以外の業務を行わせるようになっていきます。

乗務員と列車の安全のために必要なのは、監視ではなく融合化の撤回と行路緩和、十分な睡眠時間の確保です。監視カメラはただちに撤去すべきです。